

## 2020年度事業報告について

### 総括

2020年度は新型コロナウイルス感染防止に始まり、収束を見ることなくその渦中に今なお置かれている。

5月、全国に発令された非常事態宣言のさ中、「コロナに負けるな大作戦」と銘打って利用者の工賃アップ等の支援事業がサポーターから提案された。多くの家族、サポーター等から150万円の応援金が寄せられ、その返礼品製造で作業が生み出され、停滞していた事業所に活気が戻り、工賃収入のない地域活動支援センターや、グループホームも温かい支援を受け、元気をもらう結果となった。

行事としては、「絆フェスタ」、「きょうされん映画上映運動」、「喫茶りんどう」閉店に伴う「ありがとう喫茶りんどう」などの各種行事等が中止・延期となる中、感染対策を徹底しながらいくつかの事業を行うことができた。

一つは喫茶りんどう終了後、ボランティアの新しい活動先の参考にしていただこうと、各事業所のプレゼンテーションが行われた。各事業所が工夫を凝らして「こんな活動を希望している」と発表し、今まで「喫茶りんどう」に関わってこられたボランティアさんを中心に約30名が参加され、活動のきっかけをつかんでいただいた。それを機に新たな活動が各事業所で少しずつ始まっている。さらに、家族、就職した卒業生らの交流の場として昨年夏から法人本部にてスタートした「絆カフェ」は、コロナ禍においても、つながりを維持する活動として継続してきた。1月には地域に呼びかけ「精神保健福祉ボランティア養成講座」を開催し7名が講義・実習の全課程を修了し、そのうち数名が地域活動支援センター等で活動を始めている。

もう一つは職員の育成・スキルアップのための学びの機会を欠かせないとし、外部講師をお招きし「発達障害者支援研修」や「個別支援計画作成の演習」等の研修を行った。コロナ禍で活動範囲が狭められて消極的になりがちなか中、それらの研修は大いに向上心を刺激され、利用者との向き合い、職員同士協力し合い、目の前の仕事に打ち込んでいきたいと励まされた。

「絆の会5か年中期事業計画」は2021年6月の策定に向け、各事業所の検討をもとに、法人の在り方や今後の事業展開について検討を重ね、2021年度に引き継いだ。検討を行う中で、今ある位置を確認し、法人のあるべき姿を具体的に描いて未来に目を向ける作業が私たちの今後の歩みにいかに大切かを気付かされた。日々の歩みは、将来のあるべき姿に繋がっていかなくてはいけない。2021年度は3年毎の障害福祉サービス報酬改定があり、国の動向は精神障害に引き続き厳しい現状となっている。全国の仲間と共に運動しつつ、4本柱である利用者、家族、ボランティア、職員が一丸となって中期事業計画の1年目を進んでいきたい。

## I - 1 法人本部事業

### 1 会議等の開催状況

#### (1) 理事会、評議員会

理事会 5回、評議員会 2回開催

会議名	日付	審議内容	出席者
第1回 理事会	2020年 5月28日	審議事項 応援金募集について	・理事7名全員の書面同意（みなし決議）
第2回 理事会	6月3日	報告事項 ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について ・新型コロナウイルスへの対応について 審議事項 ・定款の一部改正について ・2020年度事業報告（案）について ・2020年度決算報告（案）について ・就労支援事業における工賃変動積立金の積み立てについて ・共同生活援助 絆の会地域生活センター運営規程の一部改正について	・理事7名全員出席 ・監事2名出席
定時 評議員会	6月19日	審議事項 ・定款の一部改正について ・2020年度決算報告（案）について 報告事項 ・2020年度事業報告について	・評議員9名全員出席 ・理事5名出席 ・監事2名中1名出席
第3回 理事会	10月30日	審議事項 ・寄附の受け入れ及び基本金の組み入れについて ・定款の一部改正について ・収益事業（貸駐車場）の実施について	・理事7名全員の書面同意（みなし決議） ・監事2名の確認
第4回 理事会	11月18日	報告事項 ・2020年度中間事業報告について ・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について 審議事項 ・諸規程の一部改正について ・2020年度資金収支補正予算（案）について	・理事7名中5名の出席 ・監事2名出席
臨時 評議員会	11月22日	審議事項 ・定款の一部改正について	・評議員9名全員の書面同意（みなし決議）
第5回 理事会	2021年 3月11日	報告事項	・理事7名中4名出席 ・監事2名出席

会議名	日付	審議内容	出席者
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 信州そば工房きずなにおける事故について</li> </ul> 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定自立生活援助事業について</li> <li>・ 事務処理規程の一部改正について</li> <li>・ 2021年度事業計画(案)について</li> <li>・ 2121年度資金収支当初予算(案)について</li> <li>・ 施設長等の選任及び解任(案)について</li> </ul>	

(2) 監事による内部監査

- ・ 5月23日 監事による2019年度事業及び決算監査

(3) 事業運営のための諸会議

- ・ 三役会（理事長、副理事長、常務理事、相談役） 3回
- ・ 運営会議（理事長、副理事長、常務理事、各統括管理者、事務局長） 3回
- ・ 経営会議（三役、所長、主任、相談役、事務局職員） 2回
- ・ 責任者会（理事長、統括施設長、各統括管理者、事務局長） 13回
- ・ 所長会議 10回
- ・ 所長・主任会 2回
- ・ 主任会 4回
- ・ 職員全体会 3回

(4) 苦情解決関係等

- ・ 7月14日 苦情解決担当者等会議

2 各種委員会・検討会等

- (1) 絆の会サポート委員会 2回
- (2) 職員処遇改善委員会 1回
- (3) ホームページ管理運営委員会 11回
- (4) ハートレター絆編集委員会 10回
- (5) ボランティア委員会 4回
- (6) 当事者会支援 9回
- (7) 家族会支援 14回
- (8) グループホーム入退所等委員会 10回
- (9) 災害・感染症等対策委員会 11回
- (10) 絆フェスタ実行委員会 4回

3 寄附金収入について

(1) 支援金

3,383,758円（307件）※前年度2,825,462円（337件）

(2) 「コロナに負けるな大作戦」応援金

総収入1,438,000円（151件）のうち、返礼品に係る諸経費を除いた718,000円を見舞金として支給した。

4 事業所運営等について

(1) 障害福祉サービス事業の経営

- ・ 就労移行支援事業 1 か所
- ・ 就労定着支援事業 1 か所
- ・ 就労継続支援B型事業 3 か所 (4 事業所)
- ・ 共同生活援助事業 (グループホーム) 4 か所
- ・ 短期入所事業 1 か所

(2) 地域活動支援センター

- ・ I 型 (皆神ハウス) 1 か所
- ・ III 型 (つむぎの家) 1 か所

(3) 相談支援事業所 (指定特定相談・指定一般相談) 1 か所

(4) 受託事業 (絆の会相談室)

- ・ 長野市障害者相談支援事業
- ・ 長野市障害者地域移行相談支援事業

5 受贈について

(円)

施設名	受贈内容	受贈先	評価額
法人本部	クレール篠ノ井 土地	大月 ひろ子 様	6,318,900
クレール篠ノ井	クレール篠ノ井 建物	大月 ひろ子 様	261,735

6 施設、設備整備等について (主なもの)

(円)

施設名	整備内容	補助事業等	事業費	配分金額
クレール篠ノ井	各室エアコン設置		820,754	
	各室個メーター設置		709,346	
リアン若里	各室エアコン設置		1,382,480	
	各室個メーター設置		843,920	
	空気清浄機	長野県	130,000	130,000
みらいコーポ稲葉	トイレ汚物処理槽工事	長野市	642,400	482,000
	多機能型簡易居室設置工事一式	長野県	2,873,200	2,873,200
	空気清浄機	長野県	130,000	130,000
あんだんて	冷凍冷蔵庫		175,330	
皆神ハウス	飛沫防止パーテーション他 1 点	(福)長野県共同募金会	102,000	100,000
つむぎの家	充電機能付きポータブル、アン プ内蔵スピーカー他 4 点	(福)長野県共同募金会	90,977	90,000

- ・ その他：ノートパソコン/ミキサー (びーんず)

エアコン設置工事 (信州そば工房きずな) 等あり

## 7 職員の採用・退職等の状況

### (1) 採用（7名）

正職員 2名、嘱託職員 5名

### (2) 退職（9名）

正職員 1名、嘱託職員 8名

## 8 職員の資質向上のための研修

### (1) 内部研修・当法人主催研修（計7回）

日付	研修会の名称と内容
6月25日	【新任職員研修会Ⅰ 講師：理事長・当法人職員】1 病気と障害の理解 2 絆の会の理念とあゆみ 3 当事者・家族・ボランティア・職員からのメッセージ 統合失調症についての説明の後に利用者の体験を聞き理解につながった。職員による自身についての発表も新鮮だったとの感想があった。入職3年未満の職員10名参加
7月20日	【新任職員研修会Ⅱ 講師：理事長】映画「夜明け前」の鑑賞に続き精神保健福祉の歴史を学び、日本の遅れている状況について理解した。最後にグループワークで、日本の現状に驚いたこと、目の前の利用者にとどのように向き合うかなど、感想と支援の姿勢について共有した。10名参加
8月21日	【職員全体研修 発達障害者への支援 講師：日詰正文氏】利用者にとどのように寄り添うのか、指導的にならない支援のポイントと姿勢について、理解につながった。コロナ感染予防のため参加人数をフルタイムの職員に限定。
8月27日	【新任職員事業所見学】法人のすべての事業所11か所を巡回し、任意団体りんどう会時代から、現在までの施設整備の歴史を、現場を見ながら説明を聞いた。新任職員7名および山田監事参加。
10月1日	【新任職員研修Ⅲ 講師：当法人職員】 入職5年目の先輩職員の実践発表を聞き、グループワークでは身近な日々の課題やつまずきと向き合い、総括として経験豊富な職員から長い実践の中で大切にしていることを学んだ。小さな体験が積み重なり確実な成長へとつながっていくことに気づき、気持ちを新たにできた。8名参加
10月16日	【職員全体研修 講師：小林彰氏】個別支援計画の立て方について、真のニーズを計画に反映させていく技術をグループごとに演習の形で学んだ。利用者のストレスに着目し、技術もさることながら「わくわくするような計画」を作っていきましょうと支援者のともすると真面目になりすぎる傾向にハッと気づかされた職員も多かった。フルタイム職員に限定参加
12月11日	【職員全体研修 講師：池田純氏】障害者の権利条約の今と未来と題し、日本で障害者差別解消法の成立に前後して、次々と県条例ができていくこと、長野県の取組についても紹介し、2014年国連権利条約に批准した日本の締結国としての報告の責務等を知り、私たちが利用者の人権に深くかかわる仕事をしていることを学んだ。

(2) 利用者支援のためのケース検討会

就労部門と地域生活部門 各2回 計4回

参加者：精神科医師、精神科ソーシャルワーカー、職員等

(3) 資格取得のための研修会

障がい者サービス管理責任者更新研修 2名

障がい者相談支援従事者初任者研修 2名

障がい者相談支援従事者現任研修 5名

障がい者相談支援従事者専門分野研修 [地域移行・地域定着] 2名

(4) 福祉職員生涯研修（長野県社会福祉協議会主催）

・ 新任職員課程 1名

・ 後輩育成課程 1名

・ 中堅職員課程 1名

・ OJTリーダー課程 3名

・ リーダー課程 1名

・ キャリアマネージャー養成課程 2名

・ 上級者管理者課程 1名

(5) 県内外の各種研修会への参加（各事業所の活動報告に記載）

9 研修会等への講師の派遣（計10回）

日付	内容	主催	場所	氏名
6月18日	福祉・介護従事者等の派遣による福祉を学ぼう講座「精神障害のある人の生活の困りごと」	岡学園	岡学園	西川洋介
7月7日	令和2年度護職員養成科「精神障害者の疾病、障害等に関する講義(精神)」	(福)信濃の星	信濃の星研修センター	西川洋介
7月9日	令和2年度護職員養成科「基礎的な移動の介護に係る技術に関する講義(精神)」	(福)信濃の星	信濃の星研修センター	伊藤清孝
12月8日	皆神台区お茶の間サロン「精神障害について」	皆神台区	皆神台集会所	西川洋介
10月15日 1月7日 8日	初任者研修演習	長野県相談支援専門員協会	リサイクルプラザ	川俣伸枝
10月5日 11月1日	初任者研修 web 会議	長野県相談支援専門員協会	ハーモニー桃の郷	川俣伸枝
10月15日	精神障害って何？	長野市民児協障害福祉部	長野市ふれあい福祉センター	土井まゆみ
11月18日	障害者職業生活相談員資格認定講習	高齢・障害・求職者雇用支援機構	ホテル信濃路	荒谷麻美子

日付	内容	主催	場所	氏名
11月14日	お互いに支え合いながら地域で暮らしたい～皆の願い（シンポジウム）	NPO 法人ポプラの会	勤労者女性会館しなのき	岩山秀子
1月26日	精神障害って何？	市民児協障害者福祉部会第6ブロック	長野市篠ノ井交流センター	土井まゆみ

## 10 家族・ボランティア活動への支援

### (1) 当事者活動への支援

#### ① ひまわりの会（当事者会）の支援

- ・ 役員会 9回（打合せ会議 9回）

役員からの「家族が『コロナ禍の今、複数名が集まって空間・時間を共有することが不安だ』と言っている」という声もあり、役員会も一時中止せざるを得ない状況であった。

コロナ禍で事業所の枠を超えた交流が難しいが、仲間のために何かしたい、という意見が役員からあり、情報発信・情報交換の場として新聞を定期的に発行することとした。今後も3か月に1度のペースで発行を予定している。

<活動内容>

7月31日（金） 第7回定期総会を书面決議にて実施

3月15日（月） 『ひま会新聞』2021年春号を発行

#### ② スポーツ活動（ソフトバレーボール）

- ・ 会議 スタッフ会議 年12回実施 メンバーミーティング 年7回実施  
毎週水曜日 13:30～16:00 長野市中部勤労青少年ホームにて活動。又は悠友ハウス2階にてメンバーミーティング

- ・ 第20回全国障害者スポーツ大会 精神障害者バレーボール競技 北信越・東海地区ブロック

2020年6月13日（土）、14日（日） 岐阜県岐阜市長良福光大野2675-28  
（新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止）

- ・ 令和2年度北信地区スポーツ交流会（ソフトバレーボール大会）

2020年6月26日（金） 長野運動公園総合体育館  
（新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止）

- ・ 令和2年度長野県障がい者スポーツ大会（ソフトバレーボール大会）

2020年9月13日（日） 開会式：松本平広域公園陸上競技場  
競技会場：朝日村農業者トレーニングセンター体育館  
（新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止）

#### ③ 絆の会合唱団の活動

- ・ 練習 年10回
- ・ 練習会場：法人本部
- ・ イベント：ピアノミニコンサート 6/23(火) 会場：法人本部 参加者 35名  
春が来たミニコンサート 3/23(火) 会場：法人本部 参加者 23名

### (2) 家族会（別紙）

(3) ボランティアの活動状況（ボランティア登録人数 60名 実延人数 72名）

① 各事業所ボランティア（各事業報告に記載）

② 精神保健福祉ボランティア養成講座

- ・ 2021年1月28日、2月2日、4日、9日、18日 法人本部多目的スペース  
参加者数38名（部分参加者含む）  
精神保健福祉の制度や障害について学び、病気の理解、関わり方、障害当事者、家族、ボランティア、職員の体験発表を聞く  
（講師：川中島Fメンタルクリニック 福家知則氏、当法人職員他）
- ・ ボランティア体験実習 2月10日から17日の間の1日間、希望日に合わせて絆の会各事業所で行った。
- ・ 2月18日 修了証書を7名に授与（うち4名がボランティア活動を希望し、2名が活動を開始）

※この事業は（福）長野県共同募金会「赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン」の助成事業（助成額：104,714円）にて行った。

③ ボランティア委員会の活動（委員会 7月・10月・12月・3月 全4回）

- ・ ボランティアだより発行（7月）
- ・ ボランティア交流会（2020年12月9日 参加者21人）  
内容：チェロ奏者の小島遼子さんとピアノ奏者の中村ひろ子さんによるコンサート&グループトーク
- ・ 毎月第3月曜日 絆カフェの開催（コロナの感染状況により中止の場合あり）
- ・ 精神保健福祉ボランティア養成講座への協力・ボランティア体験発表

11 広報・普及活動

(1) 第11回絆フェスタ（2020年11月7日（土）の予定を会議4回を経て中止とする）

(2) 「ハートレター絆」の発行 5回（第105～109号）500部発行

- ・ 若里地区内の回覧、南市、北市、若里中央、上千田、荒木、若里西町

12 障害者の地域生活向上に向けた取組

(1) 長野市障害ふくしネットへの参加

(2) きょうされん、せいしれん等他団体との連携、協同

(3) NPO法人ポプラの会との連携（運営会議・スタッフ会等への定例的出席）

(4) 障害者福祉推進のための活動への参加（署名活動や全国集会への参加）

13 苦情内容及び結果

申出人	件数	内容	結果
住民	1	グループホーム住人のバイクの音がうるさい。と近隣住民が不動産会社を通じて。	空ふかしはせず、広い道路に出てからエンジンをかける。エンジンの温まりに時間のかかる夜8時以降の外出はできるだけ避けると確認。
利用者	3	熱が下がったのに地域活動支援センターの来所を拒否された。	他法人と利用可能日を揃えた。説明により来所自粛の件は納得される。



申出人	件数	内容	結果
		県庁ワゴンカフェ利用客より、マグカップ・紙コップの取扱について	具体的な取り扱いの確認と練習をした。
		職員の対応について。侮辱されたと感じた。	所長面談及び、所長・本人・対応職員の面談を重ねた。

#### 14 その他

竹内恒子さん県知事表彰

8月3日、当法人ボランティアの竹内恒子さんが約30年の障害者福祉への顕著な功績が認められ、長野県庁講堂にて令和2年度長野県知事表彰（社会福祉表彰一障がい者福祉分野）を受賞された。

### I - 2 事務局関連活動

1 ボランティア 8名（ホームページ・ハートレター・サポート委員会）

2 研修参加

日付	研修名	会場	主催者	参加人数
10月30日	令和2年度ピアサポーター養成講座	ホテル信濃路	NPO 法人ポプラの会	3
3月16日	ひきこもり支援者研修会	Zoom	長野市保健所	2

## II-1 2020年度 多機能事業所（就労移行支援・就労定着支援・就労継続支援B型） 事業報告

1 悠友ハウス就労支援センター（就労移行支援） 定員6名  
長野市若里 3-14-23 TEL/FAX：026-219-5131/026-219-4701

### (1) 総括（重点目標及び目標に向けた取組について）

#### ① 利用者増

パンフレットを作成し、関係機関に配布し、一般の方を対象にした公開講座を実施するなど、活動の宣伝と利用者増に努めた。利用者が増えた一方で、短期間で就職していく利用者や体調が安定せず休みが続く利用者もあり、その都度面談を通して話を聴き、こまめに言葉がけを行った。継続してどのように新規利用者を受け入れていくかが課題。新規利用者11名（見学31名、退所5名）

延べ利用者数・・・2019年度 997名 2020年度 1,453名 就職4名

#### ② 就労支援プログラムの充実

座学は資料をパワーポイントで作り替え、プロジェクターを利用し、わかりやすい講義を目指した。個人ワークやグループワークも行い、自身で気づきが得られるように取り組んだ。

#### ③ 生産活動により、働く姿勢を習得し、必要な力をつける

2社の企業に赴き作業を開始。利用者からは「緊張度が高いので疲れる」「企業の雰囲気がわかって良い」などの声が聞かれ、「働く」ことについてイメージを持てるようになった。その他、利用者がペアになり行った防護服作成では、お互いが声をかけ合いながら行い、コミュニケーションの練習になった。

#### ④ 受け入れ企業の新規開拓と連携

利用者の特性や意向に沿った実習先を9社開拓し、企業見学・実習を行った。今後も継続して開拓していく。

#### ⑤ 個別支援の充実および利用者主体の活動の充実

利用者との定期面談で一週間の振り返りや今後の課題、就職までの道筋を共有した。また「Kizuna Shopで使う紙袋を制作したい」という声があり、職員と一緒にメンバー会で他の利用者にも参加を呼び掛け全員で紙袋制作を行うなど、利用者の自主性を大切にした。

### (2) 活動の状況と課題について

活動	状況	課題
生産活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大日本法令印刷：施設外就労として自動車のナビ取扱説明書等の封緘作業。</li> <li>■ 信州包装：施設外就労としてセメント袋の作成作業。</li> <li>■ 防護服作成：農業用マルチを使用して、コロナウイルス対策用防護服を作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して安定した仕事量の確保（利用者同士が共同で行える作業等）</li> </ul>
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 座学：「自己理解、就労に必要な知識・技術を学ぶこと」を目的に、ストレス対処法や自分の強みなどを学べる場を提供した。他の利用者の意見を聞き、個人ワークを設けることで自身の気づきが得られるように取り組んだ。</li> <li>■ SST：週1回、ロールプレイなどを通して人と上手にコミュ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容の充実（評価、認知行動療法、パソコン学習）</li> <li>・定期的な公開講座の開催</li> </ul>

	<p>ニケーションをとる練習を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 公開講座：当事者、関係者、利用者を対象に外部講師を招いて講座を実施。一般の方と学ぶ機会を設けたことで障害理解の普及啓発や、利用者自身の気づきを促す場になった。コロナ禍により1回のみ開催。</li> <li>■ パソコン学習：一人ひとり目的に合わせて自主学習を行った。資格取得したいという利用者もあり、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>■ 利用者の特性や意向に沿った企業を開拓し、企業見学・実習につなげた（見学・実習先9社）。</li> </ul>	
余暇	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ボランティアとの活動：ボランティアが中心となり、太極拳や縫物・編物を共に楽しんだ。利用者、就職者、ボランティア、職員の関係づくりとコミュニケーションの実践の場にしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・職員とボランティアとの関係づくり</li> <li>・ボランティアとの活動の場の創出</li> </ul>
利用者	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新規利用者11名（見学31名、退所5名）。就職4名。</li> <li>■ 定期面談で振り返りを行い、課題と就職までの道筋を利用者と共有した。体調が安定せず休みが続く利用者に対して、日々の困りごとなど、その都度話を聴き、安定して通所できるように支援した。</li> <li>■ 利用者からの提案で、Kizuna Shop で使う紙袋を制作。メンバー会で職員と共に他の利用者にも参加を呼びかけ、皆で紙袋を制作した。</li> <li>■ 関係機関へパンフレットを配布し、利用者増を目指した。また公開講座をでは一般の方や関係者に活動を周知した。利用者が増えた一方、短期間で就職する利用者もいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安定した通所</li> <li>・新規利用者の継続した受け入れ</li> </ul>

### (3) 行事

4月		10月	ボランティアとの活動（手芸）
5月		11月	ボランティアとの活動（太極拳、手芸）
6月		12月	ボランティアとの活動（太極拳）、クリスマス会
7月		1月	公開講座
8月		2月	避難訓練
9月	金曜プログラム（太極拳）	3月	

※メンバー会、（月1回）

### (4) ボランティア支援状況

生産活動（大日本法令印刷）	4名
余暇（太極拳、手芸）	9名

## 2 悠友ハウス就労支援センター（就労定着支援）

### (1) 総括

特に体調が安定しない利用者に対しては、職場訪問の頻度を増やし、本人や勤務先との面談や、必要に応じて勤務調整を行うなど細やかな支援を意識した。生活面の支援については関係機関と相談して役割を分担したうえで連携しながら支援を行う必要がある。コロナ禍により勤務時間・日数の短縮など影響が及んだが、退職や解雇につながる事例はなかった。

### (2) 活動の状況と課題について

状況	課題
<ul style="list-style-type: none"><li>■ 新規利用者7名。就労定着支援期限満了による定着支援終了者は0名。</li><li>■ 体調が安定しない利用者に対して職場訪問や面談の実施、必要に応じて企業と勤務調整を行った。生活面の支援について関係者間でそれぞれの役割について相談するなどより連携していく必要がある。</li><li>■ 月に一度、当法人就労支援チームによる会議に参加し、就労定着支援終了者について、継続してチームの中で支援ができるように状況を共有した。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・就労支援チームと連携した定着支援終了者の継続した支援。</li><li>・関係者機関どうしでの役割の分担。</li></ul>

### (3) 利用者状況（就業開始順）

- ・ 人数：13名（男性10名、女性3名）
- ・ 勤続年数：1年未満＝2名、1年以上～2年未満＝5名、2年以上～3年未満＝3名、3年以上＝3名
- ・ 就職先：鳥メロ長野善光寺口店、カイシンエレクトロニクス株式会社、ブライト信州株式会社(中央安楽院)、株式会社渋谷文泉閣、株式会社綿半、直富商事株式会社、株式会社デリシア、ホリデイスポーツクラブ長野、株式会社セリア、有限会社新潟屋、株式会社ツルヤ、NPO法人ワーカーズコーポかがやき(尚和寮)

## 3 悠友ハウス（就労継続支援B型） 定員25名

長野市若里 3-14-23 TEL：026-219-5131、FAX：026-219-4701

### (1) 総括（重点目標及び目標に向けた取組について）

<p>① 利用者の特性に合わせた事業内容の充実</p> <p>これまでの専門性を伴った作業を縮小し、多くの利用者が携われる作業の日数を増やした。結果、キノコの紙巻作業や販売など、従事したことのない利用者も参加できるようになった。</p>
<p>② 工賃アップに向けた取り組み</p> <p>印刷事業は「コロナに負けるな大作戦」の返礼品や他事業所より定期的に印刷物を受注した。一方でイベントの中止などでシャツ印刷の注文が伸び悩み、工賃増には至らなかった。販売はコロナ禍のなか、対面販売から予約販売に切り替え販売先から注文をいただき、販売先を増やしたことで工賃増となった。</p>
<p>③ 利用者増と定着</p>

利用者増 WG で作成したパンフレットを関係機関へ配布し、利用者増に努めた。  
 新規利用者 12 名（見学 23 名、退所 6 名）。2020 年度の延べ利用者数 4,207 名。（2019 年度 3,882 名）新規利用者からは見学や体験の際に「他のメンバーさんからまた来てくださいねと言われた」や「明るい雰囲気よかった」との声もいただき、今後も事業所全体で明るい雰囲気づくりに努めていきたい。

④ 個別支援の充実

パーテーションを設け、作業スペースを分けることで落ち着いて作業ができるようにし、当法人 B 型事業所全体でイラストやマニュアルを作って貼るなど「見える化」を行った。2021 年度も引き続き利用者の立場に立った環境づくりを進めていく。

⑤ 就労移行との連携

1 名が就労移行へ移行。就職を希望する利用者に対して、プログラムを見学、体験を実施し、スムーズに移行できるように支援した。

(2) 活動の状況と課題について

活動	状況	課題
就労支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 名就労移行へ移行。就職希望者に対して、見学や体験を行い、スムーズに移行できるよう支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望者に対する計画的な就労移行へ移行</li> </ul>
所内業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 軽作業：新規で 1 社と取引開始（チラシの封入作業）。</li> <li>■ 印刷：「コロナに負けるな大作戦」による返礼品や外部より定期的に印刷物を受注した。</li> <li>■ Kizuna Shop：季節ごとにポップを変え、地域へチラシのポスティングを開始。チラシを見て入店する顧客が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【軽作業】</li> <li>・作業量確保</li> <li>【印刷】</li> <li>・安定した仕事量の確保</li> <li>【Kizuna Shop】</li> <li>・入店しやすいお店づくり</li> </ul>
所外業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 販売：コロナの影響で対面販売ができなくなり、予約販売に切り替えて対応。また販売先を増やし、販売未経験の利用者にも体験してもらったことで、その後も継続し、従事者が増えたとともに売上が増加した。</li> <li>■ アウトワーク：これまで専門性の高さから一部の利用者と職員の参加に限られていた作業を縮小し、公園清掃、キノコの紙巻作業など中心に実施。これまで携われなかった利用者も従事できるようになった。</li> <li>■ 清掃：悠友ハウス近隣の物件に変更、縮小して実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【アウトワーク】</li> <li>・作業従事者確保</li> <li>・事業内容の整理（専門性の高い作業の縮小と多くの利用者が携われる作業の充実）</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ パーテーションで作業スペースを区切るなど落ち着いた作業環境を整え、当法人 B 型事業所全体でイラストや作業マニュアルを作って貼るなど「見える化」を行った。2021 年度も引き続き取り組んでいく。</li> <li>■ 利用者増 WG で作成したパンフレットを関係機関に配布し、活動の周知と利用者増に努めた。新規利用者からは見学や体験の際に「他のメンバーさんからまた来てくださいねと言われてうれしかった」「明るい雰囲気がよかった」との声をいただき、今後も見学者が利用したいと思える雰囲気を作っていく。</li> <li>■ 所内でその都度、支援について話し合いの場を設けた。また新任職員とケースを持ち、支援計画作成ま</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援の充実</li> <li>・事業所の明るい雰囲気づくり</li> <li>・利用者増</li> <li>・職員の資質向上</li> </ul>

	<p>で学べる機会を作り、職員の資質向上に努めた。</p> <p>■ 新規利用者が増えた一方で、週1回程度利用の利用者が多く、個別支援計画に沿って計画的に通所日数を増やしていく。</p>	
--	---	--

(3) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2019年度	2020年度	2019年度	2020年度
箱折り・発送	110	1,019,122	679,193	3,281	2,017
アウトワーク	400～1,000	2,604,278	1,671,979	35,268	14,486
清掃	650	1,063,191	1,110,201	7,814	7,945
ポストイング	5/枚	119,525	145,525	2,332	5,821
販売・Kizuna Shop	80～200	1,634,820	3,682,125	3,004	7,904
印刷	150	1,744,716	1,407,085	4,873	1,725
全体		8,185,652	8,496,108	12,233	9,819

(4) 行事

8月		2月	家族定例会
9月	避難訓練	3月	避難訓練

※メンバー会（月1回）

(5) ボランティア支援状況

整体	1名
造園	1名
合計	2名

## Ⅱ－２ 2020年度 就労継続支援B型事業所事業報告

1 信州そば工房きずな 定員20名（長野市柳原659－1）

### (1) 総括（重点目標及び目標に向けた取組について）

#### ① 利用者の特性に合わせた事業内容の充実

作業しやすい環境作りのために「見える化」に取り組み、簡易作業ではマニュアルを準備しわかりやすく作業を進めることができた。また希望者が多い簡易作業では、新たな作業を請け負うことはできたが、作業量が一定せずに予定を立てづらかった。一方で、製造作業では機械を使う時の安全管理が欠けていたことが原因で、利用者が機械に指を挟む大事故を発生させてしまった。作業中の安全の確保と意識の向上は、今後の大きな課題となった。

#### ② 工賃アップに向けた取り組み

麺の製造販売では、コロナ禍の影響、高速道路SAや駅前等での土産用の半生蕎麦の売上が大きく減少し見込みを立てにくい状況が続いた。その中で、きょうされんネットショップでの販売・サポーター販売・サポーターの寄附金による仕事・販売部による予約注文販売・さらに長野市からコロナ対策支援の補助金を頂いたことで、補填になり約180万円の収入減に留まった。一方で、スーパー各店舗での小売りは順調で、新商品の冷やし中華を夏場に納めることができた。さらに、製造用冷蔵庫の電気代削減と製造機械導入により作業効率が改善されたことで、支出を抑えることができた。施設外就労では、コロナ禍の影響で既存の援農先での作業受託が難しくなり、代わって複数の取引先での仕事を組み合わせて工賃の確保に努めた。全体としては、月当たりの平均工賃は3万円を超えることができた。

#### ③ 利用者の増加と定着

利用者増ワーキンググループで作成したパンフレットを活用して関係機関への広報に努めたことと、以前から要望のあった送迎を始めたことで、年度後半には問い合わせが増えた。しかし、外部からの新規利用者はなかなか増えなかった。来年度も引き続き、送迎サービスや「しっかり働き工賃を稼ぐことができる」といった事業所の特徴を伝えながら、利用者増と定着につなげたい。2020年度は、見学者9名（絆の会相談室2名、その他相談支援事業所5名、養護学校2名）、新規利用者2名、退所者1名となった。

2020年度延べ利用者数2,702名（2019年度2,851名）1日平均利用者数10.3名（2019年度10.8名）

#### ④ 個別支援の充実

不安になりやすい利用者には安心できるように、不満を抱えがちな利用者には気持ちの整理がつくように、面談を行った。生活状況等が大きく変わった利用者には、関係者と連携をとって安定した生活と通所の定着に努めた。一方で、職員の資質向上と支援の方向性の共有は、今後に向けての課題である。

#### ⑤ 地域との関りを更に深めていく

コロナ禍の影響で地域活動への参加は減ったが、花火大会への協賛参加と年越しそばで多くの方々にお越しいただいた。また、麺の取引先である「みすずコーポレーション」を通じて、貧困家庭へ規格外麺の提供を継続的に行うことができた。また、ボランティアさんが新たに2名加わり、利用者間の交流を深めながら活動の幅を拡げることができた。

(2) 活動の状況と課題について

活動	状況	課題
<p>麺製造</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者が機械に指を挟む事故を発生させてしまった。</li> <li>■ 中心になって作業に入る利用者は力を付け、できることが増えた。作業者が少ない時は互いに補っているが、忙しい時は余裕がなく雰囲気が悪くなることがあった。</li> <li>■ 年度前半は売上が半減する月もあり、土産用の半生そばは激減した。秋頃盛り返した時期もあったが、年明けもコロナ禍の影響が続いた。</li> <li>■ 外部からはきょうされんネットショップ、法人内では販売部による予約注文販売とサポーターからの寄付金による応援（コロナに負けるな大作戦）を頂き、売上確保に努めた。 一方で、スーパー各店舗での小売りは、堅調であった。</li> <li>■ 長野市からコロナ対策支援の補助金を50万円頂いた。</li> <li>■ 夏場に、新商品の冷やし中華を販売することができた。</li> <li>■ 法人内の就労事業所で協力して福袋販売に取り組んだ。</li> <li>■ 他の福祉法人と、互いに協力してギフトの販売を進めるつながりができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理（特に機械）へのマニュアル作成や意識の共有</li> <li>・ コロナ禍の影響を受けづらい納品先の確保</li> <li>・ 余裕をもって一日を通して作業を行う体制の検討</li> <li>・ 製造メンバーの少なさ</li> </ul>
<p>販売活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自主販売では、コロナ禍にあわせた売り方（短時間や玄関口で対応）やレジ袋の有料化への対応を柔軟に行った。</li> <li>■ イベント販売が少なくなったが、JAの屋外販売や台風災害復興記念の販売などに参加することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対面以外の販売の検討（ネット通販や定期宅配など）</li> </ul>
<p>施設外就労</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長年続けてきた楠ワイナリーからの作業受託が、コロナ禍の影響もあって休止になった。</li> <li>■ 新たに、フルプロ農園・ノースファーム・平成農園・キノコの森の4か所の作業を取り入れた。初めての作業であったが、援農サポーターやボランティアの力を借りながら、対応することができた。</li> <li>■ キノコのケース巻き作業は、固定のメンバーが中心に行ったことで、慣れて効率が上がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設外作業の行き先が多岐に渡るので、曜日の選定など予定が立てづらい</li> </ul>
<p>簡易作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ゼリーに代わる新たな作業として、台風被災地の写真洗浄と菓子詰めの作業を取り入れた。菓子詰めは誰でもできる作業で、一部のメンバーの利用者特性に合って生き生きと作業することができた一方で、納期が短く対応に追われた。</li> <li>■ そば茶は、年間予定を組んだ作業であったが、コロナ禍の影響で不規則の作業になってしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年間を通して安定した作業の確保</li> <li>・ 納期が長く余裕をもって行える作業の確保</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 麺の取引先を通じて、貧困家庭へ規格外麺の寄付を継続して行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の生活リズムを整えられるような活動</li> </ul>



	<p>■ ボランティアさんが新たに2名加わり、援農作業の応援・昼食時の交流・レクリエーション活動が充実し、利用者との交流場面が増えた。</p>	
--	---	--

(3) 作業種目・売上・工賃（単位：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2019年度	2020年度	2019年度	2020年度
製造販売（軽作業含む）	200～800	14,554,116	12,783,675	29,152	26,835
施設外（農作業など）	150～500	1,387,672	1,090,020	10,467	9,123
全体	—	15,941,788	13,873,695	27,740	30,068

(4) 行事 ※メンバー会、スタッフ会（月1回）

4月		10月	
5月		11月	防災訓練、ドライブスルー販売会
6月	ボランティアさんへのプレゼンテーション	12月	年越しそば販売
7月		1月	年始挨拶まわり
8月		2月	防災訓練、家族会定例会
9月	布野地区花火大会	3月	

(5) ボランティア支援状況

麺製造、昼食時の交流、援農、整体、レクリエーション	各1名	合計5名
---------------------------	-----	------

(1) 総括（重点目標及び目標に向けた取り組みについて）

<p>① 利用者の特性に合わせた事業内容の充実</p> <p>自主製品作り (OGT) において、マスク作りに取り組んだところ、利用者の活躍の幅が広がったり、力を発掘したりすることができた。また、紙袋作りでは工程を細分化したり、補助具を準備したりしたことで作業が簡易になり、多くの利用者が力を発揮できる作業となっている。軽作業においては、作業内容の細分化と整理を行い、担当できる工程が増えた利用者が複数いた。菓子作業では、作業工程や注意点の“見える化”に取り組む、働きやすい環境づくりをさらに進めた。</p> <p>② 工賃アップに向けた取り組み</p> <p>菓子作業については、インスタグラムの開設など店舗の認知度向上への取り組みやスーパーへの卸し販売、「コロナに負けるな大作戦」など法人内部の取り組みによって安定した売上を確保することができた。コロナ禍ではあったが、売上が昨年度比 109.8% とアップし、工賃時給を 50 円アップ (320 円→370 円) させることができた。軽作業については、コロナ禍の影響が大きく、作業量を確保することができなかつたため、工賃アップは叶わなかつた。</p> <p>③ 利用者増と定着</p> <p>3 名が新規に利用を開始した。それぞれが得意な作業を中心に行っていることもあり、安定して通って来られている。既存の利用者についても、新しい作業種目に挑戦したり、通所日数を増やしたりと順調に通所を続けておられる方が多かつた。しかし、コロナ禍で新規見学・体験者は少ない傾向にある。</p> <p>④ 個別支援の充実</p> <p>担当の相談支援専門員と連携し、支援の充実を図った。利用者本人と利用目的や目標の確認を密に行い、目標に応じて新しい作業に挑戦したり、利用日数を増やしたり、作業種目を変更したりと柔軟に対応してきた。また、定期的な個別面談などの丁寧な対応も続けてきた。コロナ禍での不安感から通所を控えたい希望がある利用者には在宅での支援を提供して対応した。</p> <p>⑤ 職員の連携と資質の向上</p> <p>フルタイム職員と時短職員が混在しているため情報共有を効果的に行うため、朝会でホワイトボードに予定を記入するなど「見てわかる」情報伝達の方法を積極的に活用した。スタッフ会の度に利用者支援の振り返りを行い、支援技術の向上を図った。コロナ禍の影響があり、各種研修は中止のものが多かつたが、法人内の研修等参加できるものは積極的に参加した。中でも「見える化」の研修は日々の実践を振り返り、他の事業所の実践から学ぶ、良い機会となった。</p> <p>述べ利用者数 2019 年度 (1,916 人) 2020 年度 (2,149 人)</p>
--

(2) 活動の状況と課題について

活 動	状 況	課 題
菓子製造	<p>■ 店舗の認知度向上を目的に垂れ幕 (看板) の設置、インスタグラムの開設、商工会のチラシへの掲載、地域の新聞店が企画するクーポンへの参加、店舗を紹介してもらうためのツールとしてショップカードの作成などに取り組んだ。特に同時期に行ったチラシ配布とクーポンは店舗利用客増に大きな効果があつた。引き続き、認知度の向上と店舗売上の確保に取り組んでいきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 週末の販売先の開拓</li> <li>・ 検品の徹底</li> <li>・ 調理設備の充実 (オーブンの増設) と包装室の活用</li> <li>・ 来店客の定着</li> <li>・ 利用者のスキルアップに繋がる見学・講</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コロナ禍の影響を受け、対面販売を自粛せざるを得ず、全体売上が一時落ち込んだが、スーパーへ商品を卸し販売や「コロナに負けるな大作戦」など法人内部の取り組みにより、安定した売上に繋がった。</li> <li>■ クリスマスの時期には、既存のお客様よりガトーショコラやパウンドケーキのホールの注文があり、固定のファンを獲得できていることが実感できた。病院祭などイベントでの販売は中止になってしまったが、注文を取りまとめ頂き配達するなどできる限り対応することで製造量、売上共に例年通りの水準を保つことができた。</li> <li>■ 製造では、特に包装工程での見える化に取り組んだことで、利用者が自発的に作業を進められる場面が増えた。</li> </ul>	習会等の実施
軽作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言発令中はゼリーの筒詰め作業がストップした。作業が再開した当初は例年以上の発注があり、受注量の増減の幅が大きく対応に苦慮した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安定した作業量の確保</li> <li>・ 作業マニュアルの作成</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自主製品づくりのグループ (OGT) は、長期欠席の利用者の復帰の作業としての役割を担った。</li> <li>■ 布マスク製作に取り組み、多くの方に購入していただいた。裁縫という今までになかった種類の作業に取り組むことで、活躍の幅が広がった利用者や新たな力を発見できた利用者がいた。</li> <li>■ 紙袋作りにも取り組み、店舗での菓子購入客に好評を頂けた。今後は紙袋の売り先を開拓し、定期的に制作・販売をしていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアの活</li> <li>・ 紙袋の売り先の確保</li> <li>・ 作業マニュアルの作成</li> </ul>

(3) 作業種目・工賃 (単価：円、賞与を含む)

	時給	売上額		工賃平均月額	
		2019年度	2020年度	2019年度	2020年度
菓子製造 (販売)	370・450 (300)	6,037,746	6,630,422	12,233	12,596
軽作業 (ゼリー、ノバ等)	150 (ノバ 0.4/1個)	373,559	363,748	2,554	1,902
自主製品作り	150		127,130		727

(4) 行事

2月	びーんず・あんだんて合同家族定例会
----	-------------------

(1) 総括（重点目標及び目標に向けた取り組みについて）

- ① 利用者の特性に合わせた事業内容の充実  
 コロナ禍の不安を少しでも解消できるよう、店舗内のパーテーション設置、密を避けるための食事場所の確保をしながら、対策強化を利用者と共に取り組んだ。軽食では、コロケの作業マニュアルを作成し、利用者のできることを増やせるよう“見える化”に取り組んだ。弁当は、コロナ禍の影響はあまり受けず、安定した注文数を維持することができ、利用者の働く意欲に繋がった。施設外作業では、担当する工程の割り振りを工夫し、個々の利用者の強みを活かせるよう取り組んだ。また、時間・日ごとの作業目標数を決めて作業したり、様々な工程を担当していただけるよう新しい工程にも挑戦していただいたり、スキルアップに繋がるよう支援を行なった。
- ② 工賃アップに向けた取り組み  
 コロナ禍の影響あり、イベントや行事の中止が多く、収益に繋げることが難しかった。販売部と連携しテイクアウト（カツ丼、ハンバーグ弁当他）の卸し販売やワゴンカフェでも豆まめコロケやいなり寿司を販売するなど、惣菜の販売強化に取り組んだ。商工会のチラシに2度掲載していただき、店舗の知名度のアップを図った。また、店舗の隣接地が更地になったことや隣の看板が撤去されたことで通りからの見通しが良くなり、地域での認知度も上がり、新規のお客様に繋がった。弁当も地域の方から定期的な注文を頂いたり、医療大学から月1回注文を頂いたりと少しずつ外部からの注文数が増えている。その結果、軽食・弁当共に工賃時給を上げることができた。
- ③ 利用者増と定着  
 コロナ禍の影響あり、見学・体験者の問い合わせ数は昨年度に比べ減少した。問い合わせがあった場合は可能な限り、受け入れを行なった。
- ④ 個別支援の充実  
 コロナ禍の影響を受け、イベントや行事の参加も無いなか、生活の変化が少なく通所のみになっていた利用者の精神的ストレスは大きいように感じる。日々の作業のなかでの変化も見逃さないよう努めた。コロナ禍で通所に不安を感じる利用者もあり、在宅支援に切り替えを行なうなど丁寧な対応を行なった。
- ⑤ 職員の連携と資質の向上  
 個々の現場職員との連携を取りながら、メンバー配置の補いや作業内容への確認及び改善すべき点の確認など伝え合いながら進めてきた。また、見える化によりメンバーが共通した作業ができるよう職員間の連携にも勤めた。
- 述べ利用者数 2019年度（2,558人） 2020年度（2,360人）

(2) 活動の状況と課題について

活 動	状 況	課 題
軽食	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コロナの感染拡大に伴い、店舗営業の中止もあったが、販売部の注文販売や「コロナに負けるな大作戦」などで作業が確保された。</li> <li>■ 店舗内は消毒やパーテーションの設置などの対策に取り組みながら、来店客の安全を確保した。</li> <li>■ 商工会のチラシ配布や通りからの見通しが良くなったことで店舗の認知度も向上し、新規のお客様の来店もあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ対策の強化</li> <li>・ 弁当との連動を含めた作業内容の見直し</li> <li>・ 14時以降の集客</li> <li>・ 作業マニュアルの作成</li> <li>・ HACCP 導入へ向けた準備</li> </ul>

弁当・惣菜	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コロナ禍の影響はあまり受けず、日に 30 食の注文はほぼ安定しているが、工房や作業に慣れてきたため作業時間が短く早く終わってしまう。</li> <li>■ 通りからの見通しが良くなったことで認知度も上がり、毎日注文をいただける地域の方も出てきた。少人数の注文にも対応していくなかで定着され、注文での収益に安定に繋がった。久しぶりに工賃アップをすることができ、メンバーの励みに繋がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作業マニュアルの作成</li> <li>・ 軽食との連動を含めた作業内容の見直し</li> <li>・ HACCP 導入へ向けた準備</li> </ul>
施設外就労	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コロナ禍の影響によって、作業が一時ストップしたり、それまでとは異なる作業になったり、大きな影響があった。下半期からはコロナ禍以前の作業内容・量に戻った。</li> <li>■ 一日の作業目標数を決めたり、作業スピードを意識するよう声掛けを行ったりしながら、収入を維持できるよう利用者・職員一丸となって取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収入の維持</li> </ul>
ワゴンカフェ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緊急事態宣言発令中は販売を中止した。手袋の着用や定期的な手指の消毒などの感染症対策を徹底して販売を再開した。</li> <li>■ 軽食事業の惣菜の販売にも取り組み、特に豆まめコロッケが人気となっている。</li> <li>■ 菓子の販売については、利用者と共に季節ごとのおすすめ商品を決めたり、声掛けの内容を考えたりしながら、売上増に取り組んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従事できる利用者を増やす。</li> </ul>

(3) 作業種目・工賃（単価：円、賞与を含む）

		売上額		工賃平均月額	
		2019 年度	2020 年度	2019 年度	2020 年度
軽食（販売も含む）	370・400(300)	4,586,722	4,356,929	10,629	13,392
弁当	400	3,566,820	3,579,010	14,614	10,373
施設外	400	985,067	667,617	8,355	7,118
ワゴンカフェ	500～700	463,565	399,627	21,195	15,155

(4) 行事

11 月	ミニミニ芸術祭
2 月	びーんず・あんだんて合同家族定例会

(5) ボランティア支援状況

内 容	人 数
法令（施設外）	1 名
整体	1 名
野菜等提供	2 名
合計	4 名

## II-3 2020年度 多機能事業所・就労継続支援B型 その他事業報告

### 1 利用者の状況・構成

(名)

		悠友ハウス (就労移行)			悠友ハウス (就労定着)			悠友ハウス (B型)			信州そば工房 きずな			びーんず あんだんて		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
登録者 (内アセスメント中)		4	6	10	10	3	13	32	6	38	11	5	16	12	22	34
年齢層	10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	20代	1	2	3	2	0	2	8	0	8	1	0	1	0	3	3
	30代	0	2	2	2	0	2	0	2	2	1	1	2	3	5	8
	40代	3	0	3	0	2	2	10	2	12	3	2	5	5	5	10
	50代	0	2	2	5	0	5	11	2	13	3	1	4	1	4	5
	60代	0	0	0	1	1	2	2	0	2	1	1	2	2	5	7
	70代	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2	1	0	1
平均年齢(歳)		39.8	38.8	39.2	45.4	48	46	44.8	45	45.2	51	46.4	49.6	50.4	46.5	47.9
手帳 保持	精神保健福祉手帳	4	6	10	10	3	13	27	4	31	9	2	11	12	15	27
	その他(療育手帳等)	0	0	0	0	0	0	5	2	7	2	2	4	1	6	7
障害者年金受給者		4	6	10	10	3	13	30	5	35	10	5	15	12	20	32
生活保護受給者		1	0	1	0	1	1	3	1	4	2	0	2	1	2	3
生活の 場	家族(両親)と同居	2	2	4	5	1	6	19	3	22	5	1	6	6	10	16
	家族(その他)と同居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5	3	4	7
	グループホーム	1	2	3	3	0	3	5	0	5	2	0	2	1	3	4
	一人暮らし	1	1	2	2	2	4	8	3	11	2	1	3	2	5	7
	入院中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所者		3	5	8	0	0	0	9	3	12	1	1	2	1	2	3
退所者		1	1	2	0	0	0	4	2	6	1	0	1	1	1	2
退所先	就職	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	他施設利用	1	0	1	0	0	0	3	1	4	1	0	1	1	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0
就労アセスメント		9	7	16												
アセス メント 後の通 所先	悠友ハウス就労支援センター	4	6	10												
	法人内B型事業所	4	1	5												
	他法人事業所	1	0	1												
	その他	0	0	0												

### 2 職員の有資格者

(名)

	悠友ハウス (就労支援)	悠友ハウス (B型)	信州そば工房きずな	びーんず・あんだんて
精神保健福祉士	1	2	3	1
社会福祉士	1	1	3	0
作業療法士	0	0	0	1
調理師	0	0	0	2
管理栄養士	0	0	0	1

### 3 会議の開催日数

B型会議	B移会議（年6回） 拡大会議（年6回） 事例検討会（年4回） 研修報告（年2回） 利用者増WG（年16回） 就労支援WG（12回） 販売促進WG（11回）
スタッフ会	年12回

### 4 実習・視察研修受け入れ（実習人数 5名、視察研修人数 10名）（名）

日付	実習内容	悠友ハウス （就労支援）	悠友ハウス （B型）	信州そば工房きずな	びーんず・あんだんて
8/24～8/28	長野養護学校 現場実習		1	1	
9/7～9/9、 11/5～13	長野養護学校 現場実習			1	
8/27～9/2	稲荷山養護学校 実習				1
9/3、4	長野ろう学校 実習				1

日付	視察内容	悠友ハウス （就労支援）	悠友ハウス （B型）	信州そば工房きずな	びーんず・あんだんて
3/9	信大付属特別支援学校保護者 見学	5	5		

### 5 職員研修参加報告（参加総数 14名）（名）

日付	研修名	主催	会場	悠友 （就支）	悠友 （B型）	信州そば 工房きずな	びーんず あんだんて
7/28、29	福祉職員生涯研修 （中堅職員課程）	長野県社会福祉 協議会	長野県社会福祉 総合センター			1	
7/30、31	福祉職員生涯研修 （新任職員課程）	長野県社会福祉 協議会	長野県社会福祉 総合センター		1		
9/9、10/7、 10/28	相談支援従事者現 任研修	長野県相談支援 専門員協会	長野市リサイク ルプラザ	1	1		
9/19、20	リカバリー全国フ ォーラム2020	地域精神保健福 祉機構	オンライ ン （Zoom）			1	
9/23、24 10/15 11/16、17	障がい者相談支援 従事者初任者研修	長野県相談支援 専門員協会	長野市リサイク ルプラザ			1	
10/30～2/28	障がい者虐待防止・ 権利擁護研修	長野県健康福祉 部障がい者支援 課	自習形式		1	1	
11/11	H A C C Pの考え 方を取り入れた衛 生管理セミナー	長野県セルフセ ンター協議会	オンライ ン （Zoom）				1
11/14	ピアサポーター養 成講座	NPO 法人ポプラ の会	勤労女性会館し なのき	1			

日付	研修名	主催	会場	悠友 (就支)	悠友 (B型)	信州そば 工房さげな	びーんず あんだんて
1/14、2/21	サービス管理責任 者更新研修	長野県相談支援 専門員協会	オンライ ン (Zoom)			1	
1/18	長野県自立支援協 議会就労支援部会 研修	長野県自立支援 協議会	オンライ ン (Zoom)	1			
2/27、3/14	個別支援計画作成 に関する研修会	日本障害者リハ ビリテーション 協会	オンライ ン (Zoom)			1	
3/4～5	福祉職員生涯研修 (管理者課程)	長野県社会福祉 協議会	長野県保健所		1		
合計				3	4	6	1



### Ⅲ 2020年度 共同生活援助事業報告

#### 1 総括

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策にかなりのエネルギー・時間を注ぐ年となり、感染症対策の補助金事業を活用して多機能型簡易居室や、空気清浄機などの設備を整備した。

支援の質を高めるため、新たにアドバイザーの配置を行い職員や利用者の相談を受けるなど、9月から始まった毎朝のオンラインミーティングと共に、職員の困りごとや情報共有など一人で抱えずに済む体制が整ってきた。グループホームの支援においてどこに焦点を置くかを検討し、休日の巡回支援を定着させ、食材の宅配サービスを活用することで利用者に直接関わる時間を増やした。

利用者の今後の方向性については、生活の場等具体的に話を聞き、アパートや介護施設の見学同行、薬やお金の管理の仕方など支援してきたが、次の行動に移すにはまだ時間が必要で、課題が残る結果となった。

クレール篠ノ井は大家さんのご厚意により土地・建物を無償で譲受した。

#### 2 各グループホームの職員体制及び有資格者

職員 体制	セルフイー平林	世話人1（夜間は携帯対応）
	リアン若里	世話人1（夜間は携帯対応）
	クレール篠ノ井	世話人1（夜間は携帯対応）
	みらいコーポ稲葉	早番1・日勤2・宿直1（24時間体制）
有資格者（重複者含む）	精神保健福祉士3人、社会福祉士2人、介護福祉士1人	
看護職員	2人	

#### 3 入退所の人数

入所 2人、退所 2人

#### 4 会議等

グループホーム会議	年12回
みらいコーポ稲葉スタッフ会	年6回（4月、6月、8月、10月、12月、2月）
事例検討会	年4回（7月、9月、11月、1月）

#### 5 職員・利用者が参加した研修

日付	研修名	主催	会場	人数
9月9日 10月7日	長野県障害者相談支援従事者現任研修	長野県相談支援専門員協会	リサイクルプラザ	1
9月23日、24日 10月15日、 1月7日、8日	長野県相談支援従事者初任者研修	長野県相談支援専門員協会	リサイクルプラザ	1

日付	研修名	主催	会場	人数
12月15日	くらし部会 Web 講習「新型コロナウイルス感染症に係る福祉施設等における感染防止対策」	長野市障害ふくしネット	Zoom で実施	1

## 6 グループホームの状況

### (1) セルフィー平林 (定員6名、男4、女2) 長野市平林1丁目16-21

#### ① 総括

一人暮らしを希望するも不安が強い利用者へはアパート探しや、一人暮らしへ向けた準備等の支援を行ってきた。1名が怠薬により体調が悪化し8月に入院、11月退去となった。自立に近いアパート形式のグループホームとしては服薬管理等の支援のあり方に課題が残る結果となった。そのため事例の検討を行い、利用者の健康管理や日常の様子になお一層の細かい配慮を心がけてきた。

12月新たに1名が入居した。新型コロナウイルス感染防止の対策を徹底しながら、食事は集まらずにそれぞれ個室で摂っているため、利用者同士の交流が少なくなっている。2名が皆のための夕食作りを週1回、自ら希望して行ってきた。

#### ② 状況

利用者の年齢	30代 2人 平均53.2歳 40代 1人 60代 2人 70代 1人	障害支援区分	区分1：1人 区分2：2人 区分3：3人
経済状況	障害年金基礎 5人 障害年金厚生 1人 生活保護 1人	日中活動状況	一般就労 1人 就労移行支援 1人 就労継続B型 1人 地域活動支援センター2人 デイサービス 1人
入退所状況	1人入所(自宅より) 1人退所(入院)	ホーム内活動	行事：クリスマス会・誕生会 その他：メンバー会(月1)
ボランティア	部屋の片付け・夕食作り(1人)	実習生受け入れ	

### (2) リアン若里 (定員7名、男6、女1) 長野市若里4-5-28

#### ① 総括

内科的疾患により療養していた2名は少しずつ回復し生活のリズムを取り戻してきた。日中活動を充実させるためボランティアと一緒に野菜作りや麻雀等を行った。筋力低下を防ぐため外出の機会を増やし、買い物の日や小旅行を計画し皆で出掛けた。一般就労している2名は体調の波はあるが支援員や家族等の支えがあり、継続して就労できている。高齢化により様々な身体機能低下が見られる利用者もおり、看護職員と共に利用者の健康面のケアに当たっている。1名はこれからの生活について家族や関係機関との話し合いを重ねており、入院を期に介護施設への入居について検討を始めた。

② 状況

利用者の年齢	20代 1人 平均57.3歳 50代 3人 60代 2人 70代 1人	障害支援区分	区分2：4人 区分3：2人 区分4：1人
経済状況	障害年金基礎 6人 障害年金厚生 1人	日中活動状況	一般就労 2人 就労継続支援B型 1人 生活介護 1人 地域活動支援センター4人
入退所状況		ホーム内活動	行事：暑気払い、忘年会、新年会、地域行事参加 その他：メンバー会（月1）、防災訓練（2回）
ボランティア	マージャン・畑	実習生受け入れ	

(3) クレール篠ノ井（定員5名、男3、女2） 長野市篠ノ井布施高田1032-8

① 総括

利用者5名は日中活動先として就労継続支援B型や、デイケア等に通所しているが、年度当初はコロナ感染への不安もあり休む人が有ると一緒に休んでしまうなど影響が大きかった。通所先との連携やそれぞれへのきめ細かい支援を行ってきたが、朝の支援を厚くするなどの対応が必要となっている。

1名が入居者同士の関係で悩みが高じ入院となり、退院後は他法人のグループホームへ入居した。新たに生活リズムの調整を目的に1名が入居した。新型コロナウイルス感染拡大で自室にこもりがちな生活が続いたため、10月に感染対策をした上で旧軽井沢へ旅行に出かけた。

② 状況

利用者の年齢	40代 3人 平均54.4歳 60代 1人 70代 1人	障害支援区分	区分2：4人 区分3：1人
経済状況	障害年金基礎 4人 障害年金厚生 1人	日中活動状況	就労継続支援B型 4人 デイケア 2人
入退所状況	1人退所（外部GHへ） 1人入所（自宅より）	ホーム内活動	行事：クレール単独旅行 その他：メンバー会（月1）、誕生会、クリスマス会、新年会、防災訓練（2回）
ボランティア		実習生受け入れ	

(4) みらいコーポ稲葉（定員7名、男3、女4）長野市稲葉689

① 総括

高齢化が進み身体機能の低下や、内科的疾患のある利用者の同行受診が増えたため、支援員、看護師、ケアマネ、巡回職員で情報共有を行い、医療機関との連携も図ってきた。

コロナ過で行事、外出が制限される中で、個別に買い物に同行することで、希望のお店で自分の目で品物を確認して買い物をすることができるようになり、生活に変化と意欲がでてきた。

音楽ボランティアの協力でみんなで楽しく歌を唄うことができたり、ギター練習に意欲的に取り組むことができるようになったり、利用者は自信が付き前向きな姿勢がうかがえるようになった。お茶のお手前は月1回が定着し、利用者の楽しみになっている。

② 状況

入居者の年齢	60代 2人 平均73.4歳 70代 4人 80代 1人	障害支援区分	区分1：1人 区分2：1人 区分3：3人 区分4：2人
経済状況	障害年金基礎 7人 障害年金厚生 3人 障害年金共済 1人 生活保護 2人	日中活動状況	就労継続B型 2人 デイサービス 5人 デイケア 1人 地域活動支援センター2人
入退所状況		ホーム内活動	行事：誕生日会、買い物、地域行事参加 その他：メンバー会（月1） ボランティアによるお茶・ピアノ演奏（月1）、防災訓練
ボランティア	お茶、ピアノ演奏（歌）	実習生受け入れ	

## IV 2020年度 短期入所事業報告

みらいコーポ稲葉（1床）長野市稲葉689

### (1) 総括

5月より利用者が増え、毎月ほぼ満床の状態が続いている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入所前の部屋の消毒、体調管理、検温、手指消毒、入所中の感染防止対策を徹底して行い、利用前に説明もしているため、「安心して利用できます」との声がきかれた。

定期的な利用者に対しては退所時の洗濯や居室掃除等、職員が代行するのではなく丁寧な関りによって遂行可能となり、自発的に実行できるようになった。本人のペースを見守りながら、本人のできることを一緒に探していくことが本人の目標達成の第一歩に繋がっている。

送迎支援も必要に応じて随時行っている。（送迎者5名）

### (2) 状況

	2019年度		2020年度	
	利用者数	日数	利用者数	日数
4月	4	19	3	13
5月	7	28	7	36
6月	7	34	7	43
7月	8	33	8	41
8月	7	21	9	38
9月	7	24	10	39
10月	10	28	8	42
11月	6	17	11	39
12月	9	29	11	45
1月	7	25	9	42
2月	5	13	9	33
3月	5	15	10	46
合計	82	286	102	457
平均	6.8	23.8	8.5	38.1

## V 2020年度 地域活動支援センター事業報告

### 1 地域活動支援センター I 型 皆神ハウス 定員20名（長野市皆神台157）

#### (1) 総括

2020年度、登録125名（2019年度122名）。新規登録者は12名（2019年度16名）。

年度当初は新型コロナウイルスの感染拡大に不安を感じ通所日数が減った利用者が多かったが、毎月発行のリーフ通信に職員が手書きのメッセージをつけるなどの対応をし、利用者や家族からは好評だった。電話相談や問い合わせの件数が増え、少しずつ来所者が戻ってきた。

プログラムでは、キャンプや暑気払いなど大人数が集まるものができず、昼食会や夕食会といった調理や会食を伴う活動の回数も減らしたため、ボランティアとの活動も少なくなった。このような状況の中でも将来の生活の場としてグループホームを考えている利用者のために学習会を開催した。地域の行事も軒並み中止になったため地域住民との交流の機会が少なくなったが、地域のお茶の間サロンを活用し住民を対象に利用者の体験発表を実施し、障害についての理解促進と利用者が自信を深めることにつながった。さらに秋には利用者の作品展示と特技発表の場として「皆神祭」を開催したところ、地域の方が大勢来所した。

定期的に行っていた家族茶話会はコロナ禍の影響で実施回数は減ったものの、毎回10名を超える家族の参加があり、分かち合いの場、情報交換の場として定着している。

個別に対応するケースが増えてきたため、相談支援センターや障害サービス事業所等関係機関との連携が必要となっている。

#### (2) 利用者の状況

##### ① 年齢

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男性	1	7	11	20	17	13	1	70
女性	0	3	12	15	14	7	4	55
合計	1	10	23	35	31	20	5	125

##### ② 保健福祉

	精神障害者保健福祉手帳	療育手帳	身体障害者手帳	障害者年金	生活保護
男性	47	12	1	52	2
女性	35	5	1	35	0
合計	82	17	2	87	2

##### ③ 生活の状況

	家族と同居	グループホーム	一人暮らし	入院中
男性	52	3	13	2
女性	46	0	6	3
合計	98	3	19	5

##### ④ 在宅地域、活動場所

	長野市	千曲市	上田市	須坂市	坂城町	一般就労	A型・B型・移行
男性	60	8	1	0	1	27	16
女性	48	4	1	1	1	7	13
合計	108	12	2	1	2	34	29

(3) 職員配置

所 長：1名（常勤・兼務）

支援員：3名（常勤・専従 1名、非常勤・専従 2名）

(4) 利用実績（延べ数）

開所日数	234日	家族来所者	222名
利用登録者数	125名	見学者	26名
利用者数	4,304名	実習生受け入れ	4名
来所相談	2,572件	ボランティア参加	220名
電話相談	4,589件	夕食（土曜日）	43名
訪問	8件	関係機関来所者	276名
同行	11件	メール	29件

(5) 事業内容

① 創作的活動及び講座等プログラム活動

- ・ 手しごとカフェ（5回）
- ・ コラージュ（12回）
- ・ 新さんの料理教室（5回）
- ・ 作って食べようお昼ごはん（4回）
- ・ 夕食会（7回）
- ・ ティータイム（5回）
- ・ 防災訓練・講話（3回）
- ・ その他（ラジオ体操、音読会、ネイルを楽しもう）

② 生産活動

- ・ 喫茶コーナー従事（30回）
- ・ 喫茶ミーティング（8回）
- ・ 喫茶準備水くみ（17回）

③ 普及啓発

- ・ リーフ通信（12回発行）

④ ボランティア活動

- ・ コラージュ、小物づくり、書道、食事会、防災訓練等の行事にボランティアの協力あり

(6) 障害当事者・家族体験発表 4回

日付	発表内容	主催	人数
8月26日	長野日大高等学校学年ホームルーム	長野日大高等学校	1
11月14日	NPO法人ポプラの会ピアサポーター養成講座	NPO法人ポプラの会	1
12月8日	皆神台地区お茶の間サロン	皆神台いきいきクラブ	1
2月2日	精神保健福祉ボランティア養成講座	社会福祉法人絆の会	1

(7) 当事者育成事業

メンバー会・喫茶ミーティング・ひまわりの会・ピアカウンセリング・リーフ通信編集会議  
家族会

(8) 職員が参加した研修・講座等

日付	研修名	主催	会場	人数
9月23日～ 1月8日	長野県障がい者相談支援従事者 初任者研修	長野県相談支援専門 員協会	長野市リサイクル プラザ	1
10月26日、 1月25日	若穂松代地区福祉関係者連携会 議	地域包括支援センタ ー	松代保健センター	1
12月9日	福祉職員生涯研修【新任管理者過 程】	長野県社会福祉協 議会	東御市中央公民館	1
2月19日	長野市障害者虐待防止・権利擁護 研修	長野市	勤労者女性会館し なのき	1

(9) 普及啓発に関する事業

リーフ通信の発行 毎月1回（12回）

(10) 研修生・実習生受け入れ

長野大学（2名）2月9日～2月27日 / 2月9日、3月2日～3月16日

精神保健福祉ボランティア養成講座受講生受け入れ（2名） 2月16日、3月6日

(11) 視察・見学

10月31日 長野市民生児童委員協議会（障害者福祉部会部会長）視察 4人

11月28日 松代地区民生児童委員協議会（障害者福祉部会）視察 12人

12月10日 長野市赤十字奉仕団松代分団 視察 5人

12月12日 若穂地区民生児童委員協議会（障害者福祉部会）視察 8人

2 地域活動支援センターⅢ型 つむぎの家 定員10名（長野市稲葉15-7）

(1) 総括

2020年度、登録82名（2019年度92名）。新規登録者は16名（2019年度18名）。

2020年度は新型コロナウイルス感染予防を行いつつ、利用者の意見やニーズに沿ったプログラムをボランティアの協力を得て行った。新規利用者も入りやすいよう常時使用できる折り紙やカードゲームなどの活動メニューを増やし雰囲気づくりに努めた。感染対策では、談話室での過ごし方やマナーについて、利用者が自ら話し合いの場を設けルール作りを行った。

プログラムでは、小諸への小旅行や散策・買い物等を行った。徒歩や公共交通機関を利用し内容も利用者が相談しながら行先や細かい日程を決めるなど、利用者の自主性やそれぞれの役割が自然と発揮できる場となった。また今年度は制作活動にも力を入れ、利用者が協力して1つの作品を作るということを定期的に行い（壁面装飾）、相互の関係作りの機会となった。さら



に女子会（お洒落やお菓子作りなど）では利用者が自分たちで内容を考え実現できたため、利用者の自信にもつながった。

家族支援では皆神ハウスと合同で家族向けの学習会を開催した。新たに登録した家族もあり、学習会の継続の必要性を感じた。

## (2) 利用者の状況

### ① 年齢

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	5	4	9	18	7	3	46
女性	1	8	14	6	3	4	36
合計	6	12	23	24	10	7	82

### ② 保健福祉

	障害者手帳	障害年金	生活保護
男性	44	41	2
女性	32	30	1
合計	76	71	3

### ③ 生活の状況、他

	家族と同居	グループホーム	一人暮らし	一般就労
男性	28	8	10	17
女性	30	2	5	10
合計	58	10	15	27

## (3) 職員配置

所長：1名（常勤・兼務）

支援員：3名（常勤・専従 1名、常勤・兼務 2名）

## (4) 利用者実績（延べ数）

開所日数	233日	訪問	0件
利用登録者数	82名	同行	1件
利用者数	2,129名	見学者	23名
来所相談	875件	ボランティア参加	130名
電話相談	1,153件	行事参加	626名

## (5) 事業内容

### ① 憩い・交流活動 2,129名

プログラム内容：メンバー会・ピアカウンセリング・ティータイム・将棋・オセロ・チェス・カードゲーム・女子会・マレットゴルフ・お出かけ女子会・地域散策等

### ② 創作的活動

書道・編み物・3Dアート小物作り

### ③ 社会との交流促進

当事者主催の暑気払い・秋の遠足・スポーツ・合唱等

④ その他

消防・防災訓練(防災学習会)

(6) 普及啓発に関する事業

つむぎニュースの発行 毎月1回(12回)

地域の方も参加できるイベントの開催 1回

(7) 見学・視察・実習受け入れ

実習生受け入れ(2名) 長野大学

(8) ボランティアの活動・養成・受入れ

・ボランティアの活動状況

創作活動(3Dアート、絵手紙、編み物・手芸、書道等)への参加

行事参加・補助・講師

絆カフェへの参加

・ボランティアの養成・受入れ状況

絆の会主催精神保健福祉ボランティア養成講座受講生受け入れ(1名)

## VI 2020年度 相談支援事業 事業報告

絆の会相談室（長野市松代町松代149）

〈職員：長野市委託相談員 1 名・相談支援専門員 3 名（うち市地域移行支援専門員 1 名）〉

### 1 計画相談支援・地域相談支援事業

#### 総括

2020 年度の計画相談支援は、年度当初よりコロナ感染の影響により、6 月末までは電話でのモニタリング、更新のケア会議となることが多かった。その後は感染予防、対策を実施しながら少しずつケア会議、利用者の希望する事業所への見学等を行ってきた。突発的なケースの事故や緊急な対応に追われて一人ひとりの相談支援に時間が掛ることが多くあった。スタッフ会では、当グループホームのサービス管理責任者に毎月参加してもらい、利用者の変化等情報の共有を行った。

地域相談支援のうち地域移行支援は、年度当初よりコロナ感染の影響により病院への訪問が制限され、それまで関わっていた 5 名の退院支援がストップしたが、6 月からは入院 1 年未満の入院期間の短い人の退院支援が開始された。また、11 月以降に、再びコロナ感染が拡大したため地域移行支援を中止する病院もあったが、相談には対応してきた。

地域定着支援は、7 名の支援を行った。地域で一人暮らしを続けるために、緊急時には連絡できる安心感につながった。

障害支援区分の認定調査は 32 件行った。

### 2 長野市受託事業

#### (1) 長野市障害者相談支援事業

##### ① 総括

長野市障害者相談支援事業・南部障害者相談支援センター（長野市から委託）

2020 年度は南部障害者相談支援センターが地域に認知され様々な相談が寄せられるようになった。

相談は障害福祉サービスの利用という目的がはっきりしているケースの一方、本人の引きこもりが長く続いており、同居する親の高齢化など複合的な問題を抱え問題解決に時間を要するケースと二極化している。家族以外のつながりを作る目的や手帳取得や受診援助が必要な方もおり、センターだけで抱え込まず関係機関と情報共有していくよう努めてきた。

状況を長野市障害ふくしネット（協議会）全体協議会でも報告し、北部障害者相談支援センター開設に向け、市全体の委託相談員と共有した。

##### ② 活動実績

1 相談件数

(1) 相談した障害者等の人数

(実人数)

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
身体障害	障害者	1	1	4	2	3	2	3	3	7	2	5	6	39
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	4	2	3	2	3	3	7	2	5	6	39
重症心身障害	障害者	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
知的障害	障害者	10	11	7	23	11	13	13	28	36	23	26	41	242
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	10	11	7	23	11	13	13	28	36	23	26	41	242
精神障害	障害者	98	82	99	96	83	105	112	105	91	85	83	111	1,150
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	98	82	99	96	83	105	112	105	91	85	83	111	1,150
発達障害	障害者	0	3	7	2	5	8	5	0	0	0	12	13	55
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	計	0	3	7	2	5	8	5	0	0	0	12	16	58
高次脳機能障害	障害者	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	7
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	7
その他	障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	障害者	112	99	118	123	102	128	133	138	134	110	127	171	1,495
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	合計	112	99	118	123	102	128	133	138	134	110	127	174	1,498

(2) 支援方法

(延件数)

訪問	1	8	14	10	6	14	12	10	9	9	6	13	112
来所相談	1	4	3	3	2	5	8	3	5	1	11	5	51
同行	3	3	6	0	6	1	0	3	5	1	4	1	33
電話相談	181	141	162	200	163	155	158	216	174	187	210	252	2,199
電子メール	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	3	11
個別支援会議	6	10	8	25	10	7	5	10	3	3	3	4	94
関係機関	25	0	0	35	27	48	35	41	18	0	20	67	316
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	217	166	201	273	214	230	218	283	214	201	254	345	2,816

(3) 支援内容

(延件数)

福祉サービスの利用等	196	133	153	148	131	137	151	173	166	168	167	213	1,936
障害や症状の理解	16	20	25	70	46	45	47	39	28	30	34	51	451
健康・医療	10	12	13	31	31	37	28	23	14	22	21	36	278
不安の解消・情緒安定	2	3	7	23	15	13	14	13	5	4	21	17	137
保育・教育	8	7	3	14	12	15	9	16	7	6	10	12	119
家族・人間関係	10	9	20	9	14	11	17	18	14	9	13	24	168
家計・経済	4	10	13	9	10	7	6	16	13	6	7	13	114
生活技術	1	5	11	8	9	11	5	15	13	4	6	12	100
就労関係	1	2	8	9	7	6	9	9	4	1	5	7	68
社会参加・余暇活動	1	1	8	4	4	4	4	1	3	1	4	7	42
権利擁護	0	5	1	2	0	3	0	0	0	0	1	3	15
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	249	207	262	327	279	289	290	323	267	251	289	395	3,428

(4) 相談者別件数

(延件数)

相談者別	本人	29	46	48	74	40	40	56	65	55	58	63	76	650
	家族	11	9	13	52	24	35	10	31	12	9	21	57	284
	その他	186	114	164	150	159	189	159	182	145	137	140	205	1,930
合計	226	169	225	276	223	264	225	278	212	204	224	338	2,864	

(5) 障害別件数

(延件数)

障害別	身体障害	3	0	10	6	12	5	2	8	17	8	11	13	95
	知的障害	21	18	28	58	28	34	43	69	60	60	74	73	566
	精神障害	184	137	151	205	157	175	164	200	137	133	141	226	2,010
	発達障害	0	6	12	4	17	16	9	3	0	0	28	33	128
	その他	9	5	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	17
合計	217	166	201	273	214	230	218	283	214	201	254	345	2,816	

③ 関連諸会議等への出席（※相談支援専門員も出席）

会議等項目	場所	回数
ケアマネ連絡会※	ハーモニー桃の郷	45
ふくしネット運営部会	ハーモニー桃の郷・市役所	6
指定相談支援事業所連絡会（打ち合わせ含む）	長野市役所・Zoom で実施	11
かつどう部会（執行部含む）	森と木・ふれあい福祉センター	5
けんり部会（執行部含む）	長野市障害者福祉センター Zoom で実施	3
ふくしネット全体協議会	長野市生涯学習センター	2
長野県自立支援協議会（執行部含む）	長野保健福祉事務所・森と木	4
長野市障害者差別解消連携協議会・長野市障害者虐待防止協議会	長野市ふれあい福祉センター	1
医療介護連携の会（松代・若穂包括との連絡会）※	松代保健センター	2
長野市南部障害者相談支援センター会議	ハーモニー桃の郷	14
長野市南部・北部障害者相談支援センター会議	もんぜんプラザ	1

④ 職員が参加した研修（相談支援専門員含む）

日付	研修名	主催	会場	人数
4月15日	長野市ケアプランナー・相談支援専門員だれでも研修会	長野市障害ふくしネット	長野市役所	2
10月21日	長野市障害者差別解消連携協議会・長野市障害者虐待防止協議会	長野県相談支援専門員協会	長野市ふれあい福祉センター	1
12月10・11日 1月21・22日	主任相談支援専門員研修	長野市障害ふくしネット	Zoom で実施	1
12月8日	第1回スキルアップ研修	長野県相談支援専門員協会	長野市生涯学習センター	2
1月14日	サービス管理者研修	長野市障害ふくしネット	Zoom で実施	1
1月18日	第2回スキルアップ研修	長野県相談支援専門員協会	Zoom で実施	2
3月16日	ひきこもり支援研修会	長野市保健所	Zoom で実施	1
3月24日	長野市全体協議会	長野市障害ふくしネット	長野市生涯学習センター	3

(2) 長野市地域移行支援事業

① 総括

長野市障害者地域移行コーディネートセンター（長野市から委託）

2020年度は、年度当初よりコロナ感染の影響により、圏域、長野市での関係会議への参加はZoomによるWeb会議等に切り替えて行う等、例年がない対応が行われた。

コーディネーター専門員として参加した長野市ふくしネット「地域でいこう委員会」では、長野市精神障害者の退院支援・地域生活支援連絡会で、当委員会の取組の紹介と地域移行・地域定着のサービス利用の推進を目的に、制度を分かりやすくまとめた資料や、地域移行支援により、退院した利用当事者の声を映像にまとめて、病院関係者や行政、保健センター、事業所向けに Web で配信した。

同じく専門員として参加した須高地域自立支援協議会地域支援部会では、10月に部会を実施したが、以後はアンケート等を用いて Web で会議を行った。千曲坂城自立支援協議会も、12月より Web で会議を開催した。2019年度より取り組み始めた地域包括ケアシステムの構築に向けた検討会も始めている。

## ② 活動実績

協議会又は地域自立支援協議会参加	圏域及びネットワーク会議への参加	ケア会議参加	支援者数	退院者数
21回	1回	31回	34人	10人

### 《退院者10人の内訳》

性別	人数	平均年齢	入院期間	1年未満	3年未満	5年未満	10年未満
男性	6人	41.6歳	人数	7	3	0	0
女性	4人	42.0歳					

### 《退院先一覧》

アパート(単身)	グループホーム	宿泊型自立訓練	自宅
5	3	1	1

## ③ 年間相談件数

### ・ 直接支援

電話	面接	自宅等訪問	病院等訪問	計
405	39	0	104	800

### ・ 関係機関への助言

保健福祉事務所	市町村	医療機関	相談支援事業所	計
8	190	290	185	673

## ④ 職員が参加した研修

日付	研修名	主催	会場	人数
4月15日	長野市ケアプランナー・相談支援専門員だれでも研修会	長野市障害ふくしネット	長野市役所	1
8月18日	須高地域自立支援協議会地域生活支援部会	須高地域自立支援協議会	書面	1
8月19日	精神障がい者地域生活支援コーディネーター等連絡会	長野県健康福祉部・疾病対策課心の健康支援係	書面	1

日付	研修名	主催	会場	人数
9月15日	須高地域自立支援協議会地域生活支援部会	須高地域自立支援協議会	書面	1
10月20日	須高地域自立支援協議会地域生活支援部会	須高地域自立支援協議会	高山村保健福祉総合センター	1
10月27日	長野市精神障害者の退院支援・生活支援連絡会	長野市	長野市保健所	1
10月29日	第1回長野市全体協議会	長野市障害ふくしネット	長野市生涯学習センター	2
11月9日	ピアサポート研修	ポプラの会	長野市芸術館	2
12月22日	千曲・坂城こころの支援部会	千曲・坂城自立支援協議会	Zoomで実施	1
1月18日	第2回スキルアップ研修	長野市ふくしネット	Zoomで実施	2
2月9日	千曲・坂城こころの支援部会	千曲・坂城自立支援協議会	Zoomで実施	1
2月24日	須高地域自立支援協議会地域生活支援部会	須高地域自立支援協議会	Zoonで実施	1
3月24日	長野市全体協議会	長野市ふくしネット	長野市生涯学習	4
4月～3月 (34回)	ケアマネ連絡会	長野市ふくしネット	ハーモニー桃の郷	1
5月～3月 (7回)	地域でいこう委員会(執行部も含む)	長野市ふくしネット	長野市保健所又は Zoomで実施	1